

L型亀有マスター73Aカムシャフト

この度は、亀有オリジナルレース用部品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
このカムシャフトは、従来のハイリフトプロフィール77度iカムシャフトを基に設計変更を施したローリフトハイパワーカムシャフトです。

8,6mmのローリフト設計は、ノーマルバルブの使用を可能としL28ヘッドチューンから3リッター300馬力オーバーまで幅広く使用でき十分なポテンシャルを発揮できます。
カムシャフトの組み付けに関しては、下記の組み付け要領をよくお読み頂き不明の点がございましたら是非お問い合わせ下さい。

「カムシャフトセッティング要領」

①バルブスプリングの選択

- カムシャフトはスプリングとのマッチングが重要です。荷重やプロフィールの特性上マッチングの良いkameari 9000rpm対応バルブスプリングをご使用ください。

②バルブリセスのチェック

- 全閉時のバルブ位置から、ピストン上死点のリセス面までの間隔を測定して下さい。
IN: 6,4mm EX: 6,4mm 以上の間隔が保たれていればOKです。間隔不足の場合は、バルブリセス加工やヘッドガスケットの厚み変更などの対策が必要です。
(L28ヘッドチューンの場合 0,8mm以内のヘッド面研(ノーマルバルブ&ノーマルヘッドガスケット時)であればピストンにバルブリセスは不要！)

③ロッカーガイドの選択

- ノーマルヘッド(純正バルブでノーマル付き出し)の場合は、4.5mmのロッカーガイドをご使用ください。
但し、カムホルダースペーサー使用の場合は、4.5mmにスペーサー厚みをプラスしたガイド厚みをお選びください。
尚、ビックバルブの使用やシートカットの追い込みによるステムの付き出し量が増えている場合はご相談ください。

④バルブタイミングの調整

	カムリフト	バルブクリアランス	レバー比	バルブリフト	開(1mmリフト)	閉(1mmリフト)	中心角
IN	8,60mm	0,25	1,46:1	12,4~12,7mm	上死点前 26° ~	下死点后 49°	101,5°
EX	8,60mm	0,25	1,46:1	12,4~12,7mm	下死点前 51° ~	上死点后 24°	103,5°

- カムを組み付けしたらロッカーアームを1番シリンダーのみに取り付けしバルブクリアランスを0,25mmに調整して下さい。
その後エンジンをゆっくり手で回してピストンとバルブの干渉がないか確認して下さい。
干渉がない事が確認できたら、上記の値を狙ってバルタイを行ってください。だいたい近いところまでバルタイができましたら残りのロッカーアームを取り付けして最終的なバルタイ微調整を行って下さい。

⑤バルブクリアランス調整

- クリアランス調整時は、カム山を一ヶ所づつ上に向けてから調整を行ってください。
エンジンが完全に冷えている時に下記の冷間時の値にクリアランスを調整し、エンジン始動後に適温までエンジンが暖まってから温間時の値になっていることを確認して下さい。

	冷間		温間		
0,17	~	0,20mm	0,24	~	0,27mm

ご注意

- 本品は、他社製のバルブスプリングとの組み合わせで使用されますと、本来の性能が出ない事が有ります。
- 本品は、レース専用部品のため、一般公道での使用はできません。又、本品に関する事故やトラブル等のクレームには一切お受けできませんので、予めご了承ください。
- 亀有マスタープロフィールは、当社独自のコンセプトによって開発されたものです。
無断でコピーや販売などを行うと著作権違反に問われますのでご注意ください。



販売元

埼玉県八潮市緑町 3-1-16
株式会社 亀有エンジンワークス

TEL 0489-98-2323 FAX 0489-97-9085